



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和3年10月

できる喜び あふれる笑顔

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから約1年半が過ぎ、新しい生活様式での活動に対応しながら教育活動を進めています。昨年度は学年ごとに行った運動集会でしたが、今年は、全校児童が集まったの運動会を18日(月)に催すことができました。

久しぶりの運動会、子供も大人も手探りの状態で準備となりました。当日の競技の様子はタブレット等の動画配信でご覧いただけたかと思います。ここでは、それ以外での印象的な出来事や新しい取組等について紹介したいと思います。

<間近に応援！団席がプロムナードに>

例年ならば、各色団がトラックを囲む形でテントを立て、団席を設けていましたが、今年は、玄関前のひさしを利用して団席としました。競技を間近に観戦でき、迫力ある走りや展開に子供たちは大興奮。応援の拍手にも力が入りました。



団席からの声援を受けて走る子供たち

<全集中！中央っ子の呼吸>



自分たちで整列完了！

平日、午前中の運動会とあって競技内容や練習日程を見直し、精選しました。全校揃っての練習は、開閉会式の並びを確認した1時間のみ。とは言え、今まで一度も練習していない並び方です。誰もがたっぴり時間がかかると思っていました。

真ん中と両端の基準列を並べた後、子供たちに目をやるとその基準列を見つめる必死な眼差し。1年生も含め全校児童が自分の立つ所を見逃すまいとしっかり見つめ、ぴーんと張りつめた空気がありました。そこで、一列一列並ばせるのではなく、全校一斉に並ぶよう指示を出しました。すると、子供たちは騒ぐことなく整然と列になり、ずっと自分の立ち位置に立ったのです。大人はびっくりです。まさに中央っ子の呼吸で全集中し、全校の心が一つになったからこそできた動きでした。

本番当日も子供たちは何も言わずとも姿勢よく開閉会式に参加し、話を聞き、呼びかけられたことに「はい！！」と大きな声で返事していました。全校揃って運動会ができる、そのこと自体が子供たちの喜びとなっていたのでしょう。



中学年競技 タイフーン&ハリケーン



低学年競技 ダンシング玉入れ

< 高学年への憧れを抱き >

応援パフォーマンスは5、6年のみで行いました。5、6年で行うことで隊列を交差させたり、人文字を表したりするなど複雑な動きも取り入れることができました。当日は6年生の保護者に向けて演技するので、せっかくの素晴らしい動きを正面から他学年にも見てもらおうと14日（木）に4年生、15日（金）に1～3年生に披露することとしました。



5・6年生の応援格好よかったよ！

応援パフォーマンスを一通り鑑賞した後、突然4年生から出た「一言いいですかぁ！！」の大きな声。4年生から5、6年生に向けた「憧れ」や「感謝」の言葉が続きました。どこが良かったのか、その場で感じたことを自分の言葉で素直に懸命に語る姿がそこにありました。心に響くその言葉に「ありがとう」と自然に湧き上がる5、6年生の声。1～3年生に披露したときにも同じように心温まる交流が見られました。



応援練習のスナップから

私たち大人は、子供が未知のことに取り組むとき、心配のあまり、間違わないように丁寧に誘導したり、過剰な手助けをしたりしがちです。しかし、子供たちは未知のことに出合ったときこそ、五感を研ぎ澄ませて考え、自ら進む道を切り開く力を持っているのではないのでしょうか。運動会に限らず、様々な活動において子供を信じ、挑戦し、考える場を用意すること、そして、子供たちの力でやり遂げたことを認め、励まし、称賛する場を増やすことの大切さを改めて感じました。

今後も学習や生活の場面で子供たちの「できる喜び」や「あふれる笑顔」がたくさん見られるよう、取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でも、子供の自主性を尊重し、日常生活の中での小さな冒険、挑戦を奨励することで心身の健やかな成長をこれからも温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

☆お知らせ☆

11月8日（月）～14日（日）にかけて運動会のダイジェスト版がNet3で放送されます。

放送時間は、7：30、11：30、15：30、21：30の一日4回です。お楽しみに！！